

第9期京都市民長寿すこやかプラン期間中（R6～R8年度）の
共通取組テーマについて

「ACPの理解の促進」

共通取組テーマの要件

- 各地域で共通して存在する地域課題をテーマとする。
- 「3年間、8センターで取り組めるテーマ」「3年間の中で、また、3年間を経過した後も各地域でも取り組めるテーマ」を設定する。

「ACPの理解の促進」を共通取組テーマとする理由

- ・これまでの各センターの取組や前回業務連絡会のグループワーク等を通じて把握した地域課題の中で多くのセンター（コーディネーター）が課題として認識している。
- ・「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」の4つのすべての場面に関わる課題であり、いずれの場面においても、医療・介護関係者の相互理解や繋がり、スキルや意識の向上、市民の理解等が必要不可欠であることから、ACPを切り口に地域課題の解消に取り組むことが可能である。

第9期 京都市民長寿すこやかプラン（案）より抜粋

第5章 京都市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の重点取組ごとの主な施策・事業

【重点取組3】住み慣れた地域で暮らし続けるための介護サービス等の充実と住まい環境の確保

《取組方針》

- 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを生涯にわたり続けることができるよう、在宅医療・介護連携支援センターの活動等を通じて多職種協働による在宅医療・介護の提供体制の強化に取り組みます。

2 医療と介護の連携強化

《主な施策・事業》

施策番号	主な施策・事業
318	在宅医療・介護連携支援センターの活動を通じた多職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築推進
319	医療・介護・福祉関係者への在宅医療・介護連携支援センターの周知の強化と活用促進
320	自らが希望する人生の最終段階における医療・ケアのあり方についての理解を深める取組の推進
321	在宅療養あんしん病院登録システム等、京都地域包括ケア推進機構によるオール京都体制での取組との連携による在宅療養支援の推進

【数値目標】

目標指標 (関連施策・事業 318, 319)	2022年度	2026年度
在宅医療・介護連携支援センターの相談受付件数	1, 216件	1, 300件※

※ 他都市の状況を参考に、1センターにおける月当たりの相談受付件数の下限を10件と設定し、それを上回っているセンターの実績を上乗せして見込んだ数値を目標とする。